

# 地域学校保健委員会

平成30年12月12日(水)  
柳津町地域学校保健委員会

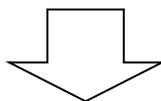
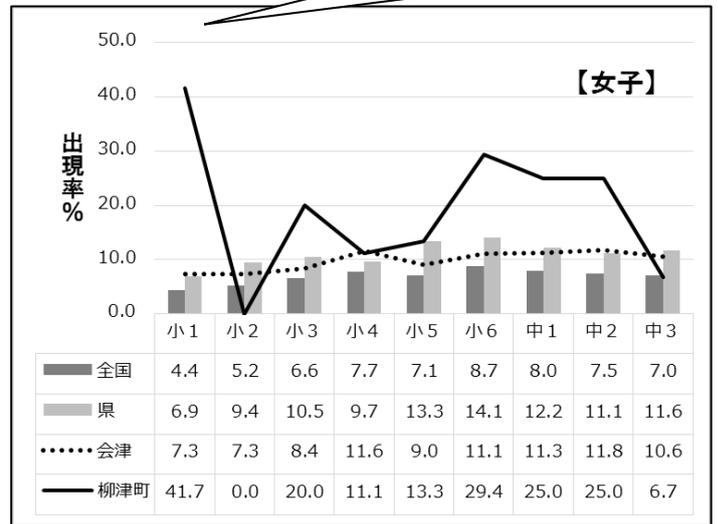
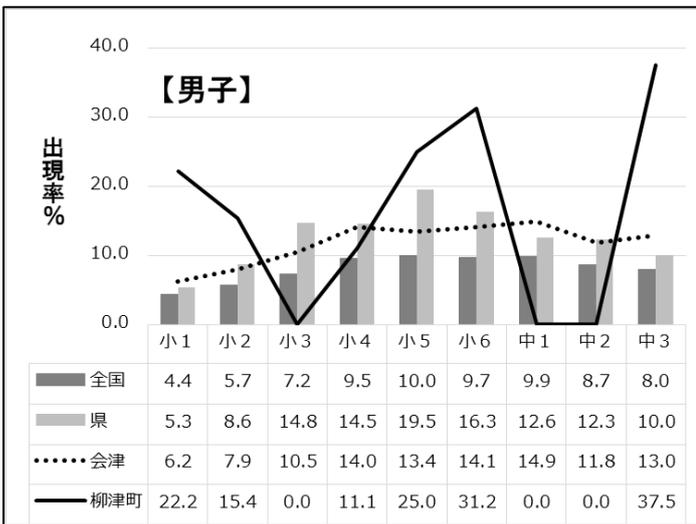
11月27日に「柳津町地域学校保健委員会」を開催し、各校の健康課題と対策について話し合いました。報告・協議された内容について一部紹介します。ご覧いただき、子ども達が元気に楽しく生活できるよう、望ましい生活習慣の定着に向けてご配慮いただきますようお願いいたします。



## 柳津町の健康課題

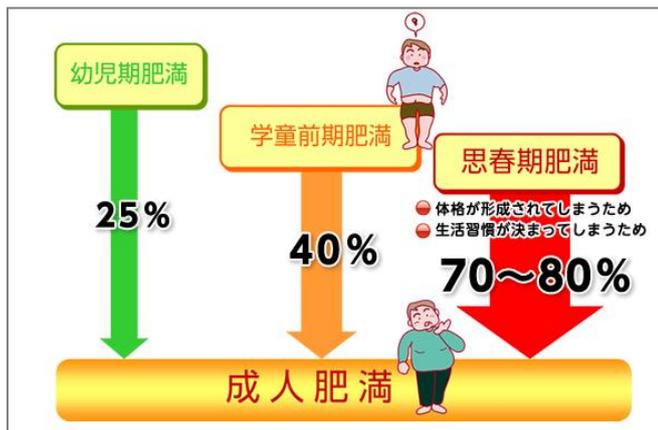
柳津町は、県や会津の平均を大きく上回っている学年が多く、肥満傾向の子どもの割合が高いです。

### ◇ 肥満 肥満傾向児の出現率について（全国・県・会津との比較）



個別指導・体組成の結果から見てきたもの

- 両沼地区では、平成27年度から2学期に体組成を行っている。肥満度による体格判定では、「肥満傾向」と判定された児童生徒が、体組成で筋肉量と脂肪量を分析した結果、問題ないと判断されることもあり、肥満度判定だけでは一概に判断できない部分もある。
- 小学校で肥満傾向だった児童も、中学校や高校の部活動で肥満度は一旦下がる。しかし、部活動終了後に



体重が増加する傾向にあるため、大人の肥満に繋がってしまう。そのため、子どもの頃からの、生活習慣の指導が非常に大切である。

- 運動量が少ない割に、食事量が多いため、肥満傾向になっている子どももいる。保護者も気にはしているが、「子どもの食欲が旺盛で歯止めが効かない」「バランスの良い食事を作るのが難しい」などの悩みを抱えている様子だった。

子どもの肥満は大人の肥満のもと！

## ◇ むし歯

う歯の状況 ※保育所は平成29年度年中・年長児のデータ

	西山保育所	柳津保育所	西山小学校	柳津小学校	県平均(小)	会津柳津学園中	県平均(中)
う歯なし	40.0%	55.3%	27.2%	43.8%	41.1%	62.8%	53.9%
処置済	う歯あり	う歯あり	36.4%	39.7%	29.6%	19.2%	25.0%
未処置	60.0%	44.7%	36.4%	16.5%	29.3%	18.0%	21.1%

- ・西山地区は、県平均と比較すると、むし歯の割合が高く、柳津地区は低い。
- ・中学1年生の一人平均 DMF 歯数は0.3本で県平均 1.1本、全国平均の0.8本と比べて有意に下回っている。
- ・保育所はむし歯の割合がそれぞれ60%・44%と高く、むし歯の処置状況ははっきりしていない。



- 保育所は年長児にフッ素洗口を実施している。効果がすぐに出るものではないので、保育所・小学校・中学校とデータを比較し続ける必要がある。
- 幼少期にむし歯ができると、その後の口腔問題に大きく関係してくるので、幼少期にむし歯にならないように努力することが大切である。

## 学校を空気のきれいな施設に!



空気のきれいな施設

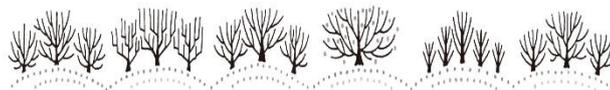
柳津町小中学校は「空気のきれいな施設」を目指し、福島県に申請したいと考えています。

### 「空気のきれいな施設」認証制度とは?

たばこを吸わない人が、自分の意志とは無関係に、たばこの煙にさらされてしまうこと(受動喫煙)を防ぐことを目的とした制度です。福島県のホームページで公表することによって、たばこを吸わない人が安心して過ごせる場所を増やしていくことを目指しています。

※福島県HPより

## 学校医の先生方より



- むし歯を放っておくと、口の中に細菌が増えるため、早めに治療してほしい。
- 健康課題については、家庭の影響が大きい。柳津町ではスポーツの推進をしているので、肥満改善に役立ててほしい。
- これからインフルエンザ等の感染症が流行る時期になるので、教室の換気をこまめにしてほしい。
- 太陽が当たる窓際は、明るくなりすぎるので、カーテンの開閉をして調節してほしい。

